防衛省情報本部
総務部 人事教育課 採用担当
〒162-8806
東京都新宿区市谷本村町5番1号
TEL 03-3268-3111（代表）内線31264
https://www.mod.go.jp/dih/

情報本部HP

情報本部採用チーム
X（旧Twitter）

情報本部採用チーム
Instagram

情報本部採用チーム
YouTubeチャンネル

Defense Intelligence Headquarters

我が国最大の情報機関

防衛省情報本部

職員採用パンフレット 2027

こちらの写真の背景は、
電波情報収集機（RC-2）です。
電磁波に関する情報の収集を行います。

インテリジェンスを仕事に

行動を起こすとき、欠かすことのできない情報。
我々の使命は、インテリジェンスで我が国の安全保障を支えることです。
情報本部では、この使命を全うするため、事務官、技官、自衛官たちが一丸となって仕事をしています。
それぞれが専門性と叡智を持ち寄り、我が国、そして世界の将来を左右するかもしれない意思決定や判断に必要な情報プロダクトを作成するという、情報本部以外では決して経験できない、ダイナミックな環境で勤務しているのです。
日本、そして世界の平和のため、インテリジェンス分野で活躍したい方、情報本部では、みなさんの優れた能力と高いやる気を必要としています。
みなさんとともに働ける日を楽しみにしています。

情報本部長　海将　江川 宏

CONTENTS

03　情報本部の概要
05　情報本部の任務
06　情報本部と日本を取り巻く国際情勢
07　情報本部の組織
08　情報本部の活動
09　各部・通信所の紹介・職員のメッセージ
　○総務部
　○統合情報部
　○計画部
　○分析部
　○画像・地理部
　○電波部
　○通信所
15　防衛省専門職員採用試験の概要
17　国家公務員採用一般職試験
　（大卒程度試験）の概要
19　国家公務員採用一般職試験
　（高卒者試験）の概要
21　情報本部で得られる機会
　～国内外留学・在外公館出向・研修～
23　ある分析官（語学職員）の一日
24　ある技官の一日
25　入省1年目職員アンケート
26　ワークライフバランスを支える制度
27　Q&A 採用担当がお答えします!
29　処遇関係
30　採用情報

情報本部の概要

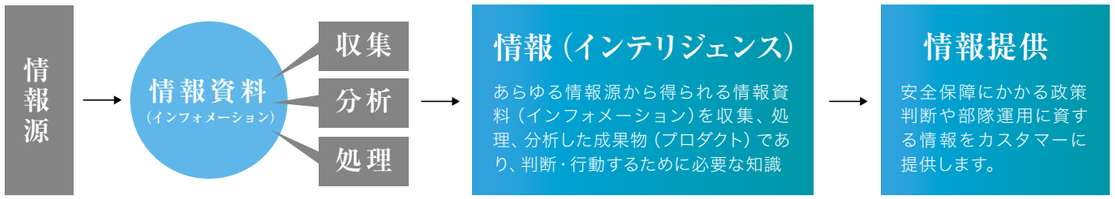
情報本部は、我が国の情報機能の重要性と国際情勢の変化を踏まえ、
平成9年に創設された防衛省の中央情報機関です。

電波情報、画像・地理情報、公刊情報などを収集・分析するとともに、
防衛省内の各機関、関係省庁、在外公館などから
提供される各種情報を集約・整理し、
国際軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行っており、
その分析結果は、内閣総理大臣や防衛大臣、防衛省の内部部局等各機関、
国家安全保障局をはじめとする関係省庁や、統合作戦司令部、
陸・海・空自衛隊の各部隊に報告、共有され、
政策判断や部隊運用に役立てられています。

情報本部の任務

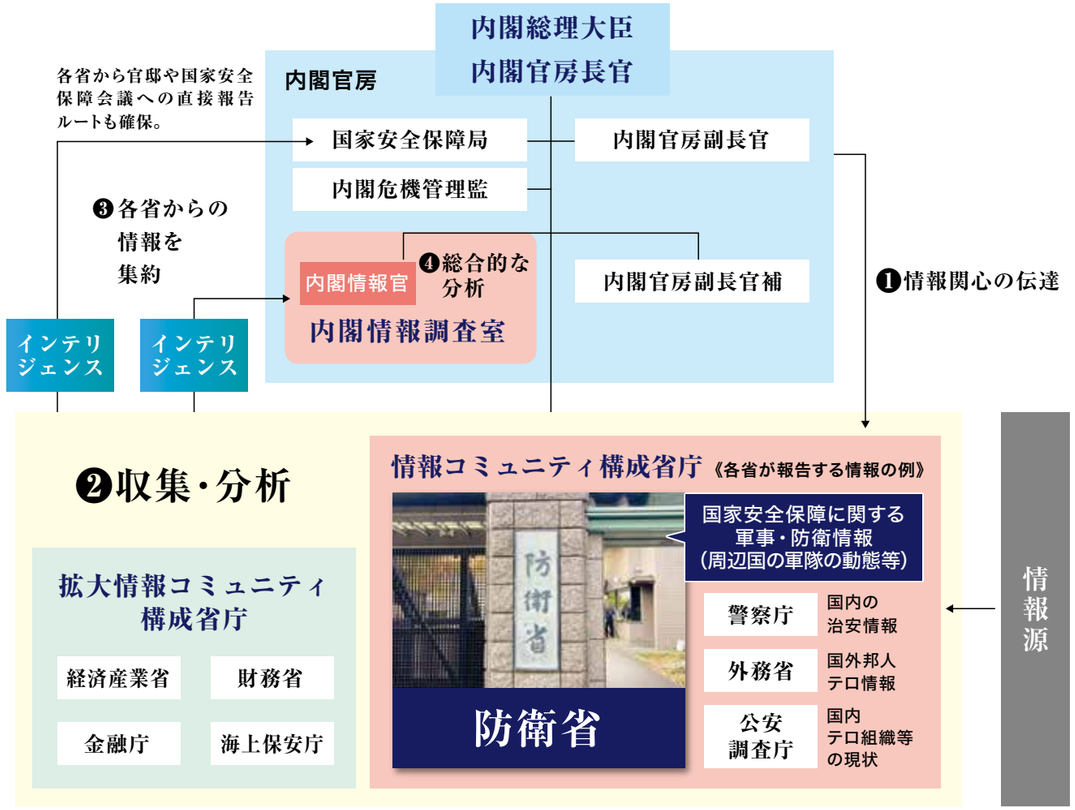
情報本部は、政策決定者や部隊運用者に情報（インテリジェンス）を適時適切に提供する防衛省の情報機関です。

■多岐にわたる情報を扱う我が国最大の情報機関です。
■画像・地理情報や電波情報に対して、独自の情報収集機能を有しています。
■公開情報をはじめ、各種情報を収集・集約し、国際・軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行うことを任務としています。



情報コミュニティについて

内閣官房（総理、官房長官、国家安全保障局等）に対するインテリジェンスの報告は、各省からの情報を内閣情報調査室が集約し実施しています。防衛省は周辺国の軍隊等の動態などの情報の収集・分析を行い、内閣情報調査室へ共有するとともに、必要に応じて直接報告しています。



日本を含め、世界は「新しい戦い方の脅威」に直面しています

「情報」の重要性はますます高まっており、
我々のインテリジェンスが我が国の平和と安全を保つカギとなります。

政府は、令和4年に閣議決定された国家安全保障戦略に基づき行動します

●国家安全保障戦略　●国家防衛戦略　●防衛力整備計画（防衛費）

「力による一方的な現状変更」を抑止するため、相手の能力に着目しつつ、新しい戦い方に対応できる防衛力を備える必要があります。
我が国は最も激しく複雑な安全保障環境に直面しており、新たな危機の時代に突入しており、こうした厳しい安全保障環境において、情報の重要性は従来以上に高まっています。総理大臣や防衛大臣といった意思決定者に対して、国内における政策判断や、部隊運用に資するための適時適切なインテリジェンスの提供が必要不可欠とされます。

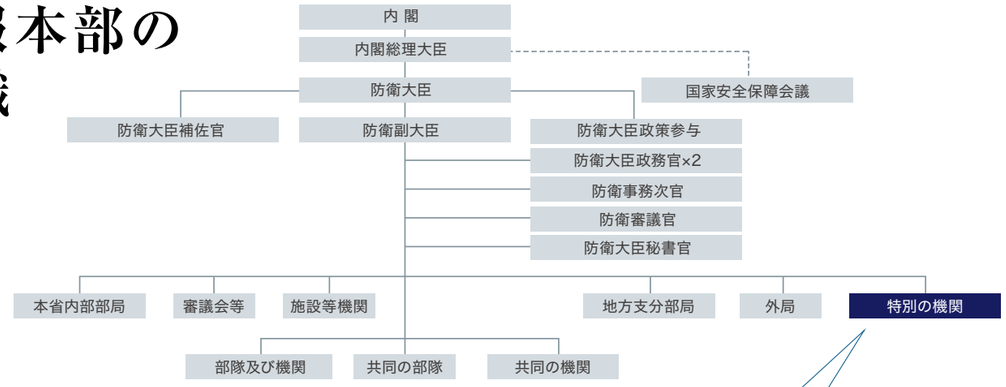
情報要求に確実に対応できる体制・態勢の構築に向けて

1. 情報収集・分析に関する体制の強化
2. 人工知能（AI）を活用した公開情報の自動収集・分析機能の強化
3. 各国による情報発信の真偽を見極めるためのSNS情報等を自動収集する機能の整備
4. 情勢見積りに関する将来予測機能の整備

新たに始まる！能動的サイバー防御業務

厳しいサイバー安全保障環境に対応するため、令和7年5月、「サイバー対処能力強化法等」が成立し、政府一丸となって能動的サイバー防御（ACD:Active Cyber Defense）を実施する体制を整備しています。情報本部電波部は、同法に基づき、通信情報を利用・分析し、我が国に対するサイバー攻撃の実態把握に努めて参ります。

情報本部の組織



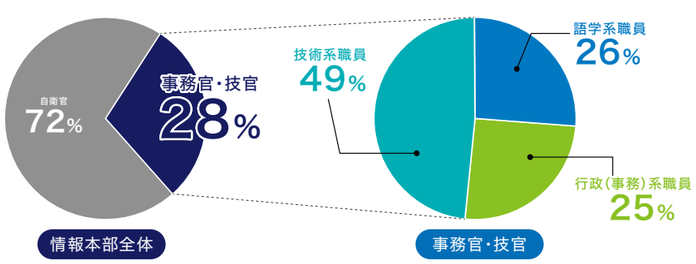
情報本部

●情報本部長、副本部長以下、各部、6か所の通信所で組織されています。
●各部は市ヶ谷（東京都新宿区）に所在し、各通信所は全国各地（東千歳、小舟渡、大井、美保、太刀洗、喜界島の6か所）に配置されています。

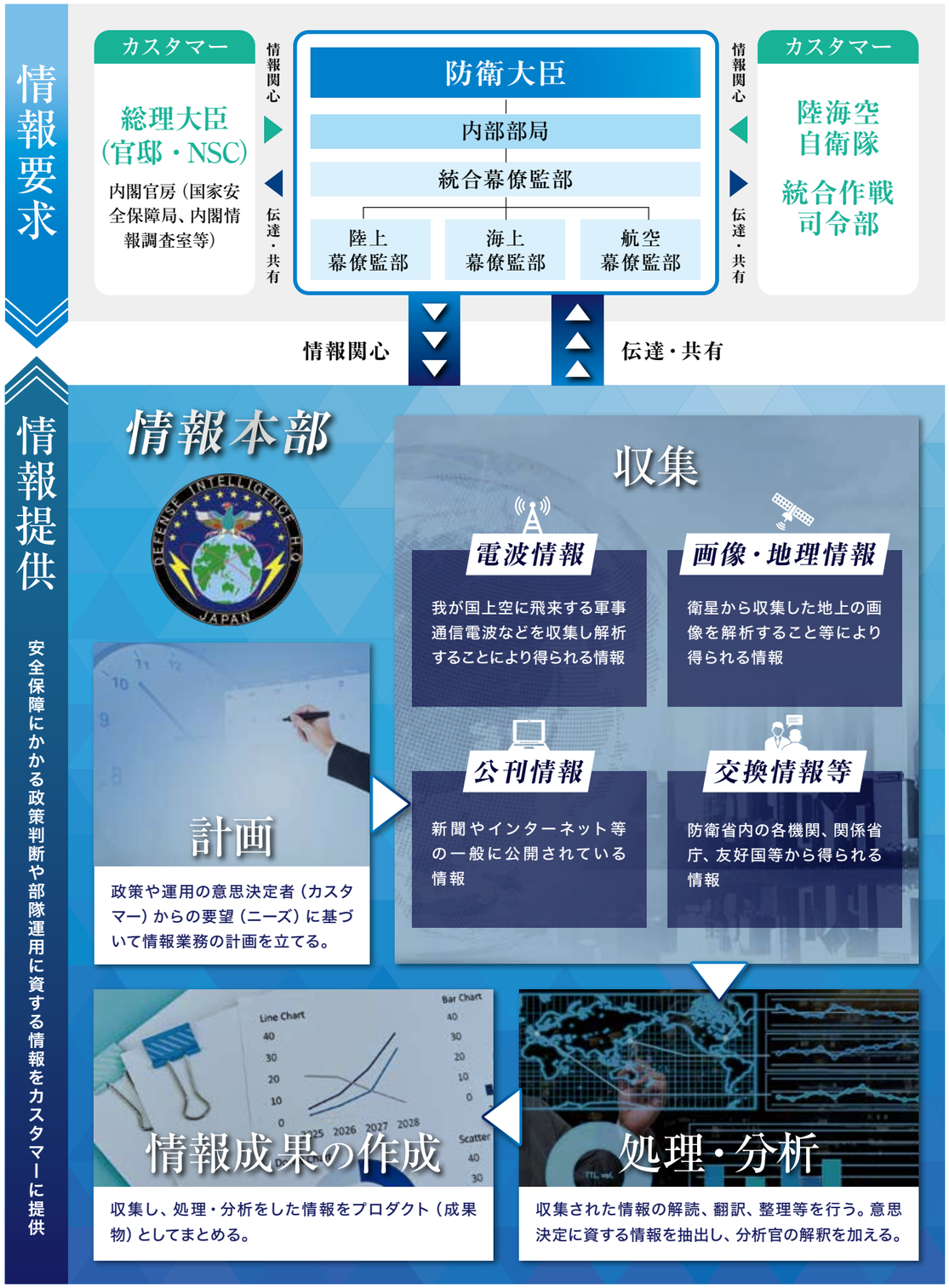
職員の割合

情報本部は、
事務官、技官、
陸・海・空自衛官が
ともに働く組織です。

令和7年12月1日現在



情報本部の活動の流れ



総務部 情報本部の組織運営に関する広範な業務を担う

情報本部の活動が円滑に実施されるよう、総務全般に関する多種多様な業務を行っています。人的、物的、予算的な面から情報本部の基盤を支えている、組織運営には欠かせない部署です。

行政(事務)職員

情報本部の人事、会計、行政文書管理、物品の取得・管理等、幅広く管理業務を行い、情報本部の基盤を支えています。業務に携わるなかで、組織運営に関わる多くの知識や技能を身につけていきます。

Message

事務系(高卒)・入省21年目・男性

人と組織、国を支えるインテルオフィサー

当時、安定した職業に就きたいという思いから公務員を志望していた私は、専攻していた情報分野の知識を活かせると考え、防衛庁Ⅲ種試験（現「一般職（高卒者）試験」）を受験しました。

入省後は、情報本部において基礎教育を経て、電波情報の収集、処理・分析、情報成果（プロダクト）の作成などの業務に従事してきました。

現在は、国外留学に関する外国政府機関との連絡・調整、語学試験や調達、職員の選考に係る人事、教育業務など幅広い業務を担当しています。

行政（事務）職員の魅力としては、組織運営に関わる多様な知識と技能を身につけながら成長できること、そして様々な勤務場所や環境で活躍できることです。前職の内部部局勤務では、情報本部が作成したプロダクトを官邸や情報コミュニティ関係省庁へ適時適切に提供する業務を経験し、実際に、国の政策決定者との架け橋となっていることを肌で感じ、かけがえのない機会を得ることができました。

近年、フェイクニュース等の「情報戦」が新たな脅威として懸念視されているように、安全保障におけるインテリジェンスの重要性は、ますます高まってきております。情報という分野で自らの力を発揮してみたい、と思う皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。ぜひ、情報本部を志望されてみてはいかがでしょうか。

統合情報部 自衛隊に頼りにされる情報組織

自衛隊の活動に必要な情報を適時適切に集約・提供する「情報の最前線」であるとともに、将来の様々な事態に備えるべく中長期的な情勢の分析に努めています。
さらに、同盟国等との情報交流を活発化させ、情報の多層化に取り組んでいます。

語学系職員

語学系職員は、高い語学力やコミュニケーション能力を存分に発揮し、同盟国等との情報交流、国際会議への参加、通訳支援などを行っています。

Message

語学系・入省29年目・女性

得意の語学で国防に貢献！

私が所属する統合情報部では、陸・海・空自衛隊の日々の活動に必要な各国の情勢や今世界で起こっている紛争に関する情報の収集や分析を行っています。これらの情報は関係国との連携によりもたらされるものも多く、語学能力は欠かせないスキルです。

私の業務は、日本と各国との防衛交流・協力に資する情報を広く収集し取りまとめることで、自衛隊を統括する統合幕僚長へ直に報告を行うこともあります。ここでは、自身の知識や視野が広がるだけでなく、自分が調べた「点」である情報が、様々な部署や機関に活用され連なる「線」となり、その後広がりある「面」として自衛隊活動の施策に反映されていくことに面白さを感じています。

私のもうひとつの業務として、外国機関との情報交流に係る連絡・調整や通訳・翻訳業務があります。軍事に関する専門用語が多いため、担当自衛官との打ち合わせやマニアックな資料の読み込みに時間を要しますが、まさに防衛省・自衛隊ならではの世界に触れることができる醍醐味があります。

ICTの発達により、メールやビデオ電話等を通じて世界との距離が急速に縮まりました。我が省においても海外との防衛協力・交流が益々さかんになり、「知ること」「伝えること」の重要性は高まる一方です。是非、あなたも得意の語学を生かして、防衛省・自衛隊で活躍してみませんか？

計画部 防衛省各機関・諸外国との調整役

情報本部で扱う情報の収集整理に関する総合調整や事業計画立案、防衛省内外の関係部署及び諸外国関係機関との調整、通信システム運営管理、さらには装備品の研究改善の総括等多種多様な業務を行っています。

語学系職員

政策判断や部隊運用に資する情報を適時適切に提供するための各種能力の強化を図る上で、同盟国・同志国との協力・交流は重要な役割を担います。それらを推進するため、語学系職員は、高い語学力を大いに発揮し、情報本部長を始めとする情報本部高官の外国出張や諸外国からの来訪者受け入れに関わる計画、連絡調整、アテンドを含む一連の主要な任務を遂行し、組織全体に大きく貢献しています。

技術系職員

情報通信、AI、量子技術など、未来を変える最先端テクノロジーの動向を調査・研究し、その知見をもとに次世代の研究計画を立案します。また、情報本部に導入される新しい情報システムの設計に関わり、その技術的な妥当性を評価する重要な役割も担います。革新的な技術を実際の防衛システムにどう活かすかを考える、挑戦的でスケールの大きい仕事です。

Message

語学系・入省18年目・男性

ニュースの裏では・・・

「再来週の会議テーマは〇〇を取り上げる予定。明後日には省内外高官への説明を始めるので、それまでに資料を作り上げてほしい」、「省内高官の◇◇から『□□について教えてほしい』との依頼があった。明日には報告のための資料を用意してほしい」、「省外高官の☆☆から『◎◎について××との情報を得ているが、防衛省で把握している情報を集めて至急報告してほしい』との要請があった。午前中にも報告するべく至急資料を取りまとめてほしい」…。これらは計画部で行われているやり取りの一例です。

計画部は、防衛省における情報関連の窓口である内部部局と連携して、軍事情報に関する省内外からの質問や要求に対し、報告資料等の作成に対応しています。これらの情報は、大部分が高官の元まで届けられるものであり、計画部の携わったものが我が国の政策決定に必ず寄与していると言っても過言ではありません。

したがって、その資料の中身については慎重に検討しつつも、迅速に作成しなければならないという、仕事の難しさがあります。一方、自分が関わったものによって国が動いているという充実感、やりがいを感じることができる所だと感じます。

情報本部は、国家の政策に関与したい方にはうってつけの職場だと思います。皆さんと切磋琢磨できることを心待ちにしています。

Message

技術系（大卒）・入省14年目・男性

重要な情報システムを守るために

私は計画部で、情報本部が利用するシステムが安全に機能するよう、体制づくりとリスク管理を担当する部門で勤務しています。情報本部が作成するインテリジェンスは国家安全保障に直結する極めて重要な情報であり、その情報を扱うシステムを安定して稼働させることは、我が国の防衛の要となる重要な基盤を形成する業務だと考えています。

現在、防衛省では、国家防衛戦略に基づき、サイバーセキュリティ強化を進め、重要なシステムを中心に常時継続的にリスク管理を行う体制へと移行しています。この体制を円滑に機能させるため、関係部署や契約企業と連携しながら業務を進めています。加えて、こうした取り組みには高度な技術知識が求められるため、インターネットや書籍の調査、セミナーや展示会への参加などを通じて収集した情報を成果物としてまとめ、関係部署に提供する業務も担っています。

私は、今年4月の人事異動でこの業務を初めて担当することになりましたが、先輩方のサポートや外部研修を通じて日々学びながら経験を積んでいます。さらに、情報本部には大学院留学制度など自己研鑽の機会も豊富なので、意欲次第で飛躍できる職場環境だと感じています。

国家の安全を守る責任とやりがいを感じながら働ける職場です。皆さんと力を合わせて働けることを楽しみにしています。

分析部

カスタマーニーズに応え、安全保障に貢献する。

諸外国の新聞や雑誌等の公開された情報や、情報本部の他部門が収集する電波情報や画像・地理情報等の様々な情報源をもとにオールソース分析を行います。これらの分析結果（情報プロダクト）は、NSCや自衛隊等のカスタマーに提供され、迅速で的確な意思決定や部隊運用に役立てられています。

語学系職員

分析官として、分析業務に従事します。平素から国際社会や世界経済、国際的な軍事情勢の動向を定点観察し、情報を収集します。その中から、日本の安全保障に影響を及ぼす可能性のある事象に注目し、政治や経済、軍事の観点を踏まえ、総合的かつ多面的に分析します。また、高い語学力と豊富な知識を活かして、会議での通訳や論文の翻訳にも従事します。

行政(事務)職員

人事管理や物品調達、経費の清算や情報公開請求への対応など、部内の幅広い総務業務に従事しています。部のミッションである分析業務が円滑に実施できるよう組織運営の基盤を担います。

技術系職員

機械系やデジタル・電気・電子系の専門知識をもとに軍事技術や先端技術をはじめとする広範多岐な技術分野の情報を収集し、技術的観点から各種兵器に関する分析を行います。その際、情報システムを用いたシミュレーション等を活用しながら専門的具体的な分析に取り組みます。

語学系・入省27年目・女性

日々学び、日々成長できる職場

私は今、分析部で勤務しています。これまでにも分析部で勤務したことはありますが、今も昔も変わらず感じるのは「脳への負担が大きく」、「日々の勉強が不可欠」ということです。これだけ聞くと、とても辛い業務だと思われてしまいますが、実際は、自衛官や技官など多様なバックグラウンドを有する職員が集まり、協力し合いながら国際情勢の分析に取り組んでおり、決して孤独な業務ではありません。地道な努力は不可欠ですが、年次に関係なく自分の分析結果を報告する機会が与えられ、ユーザーから感謝されることもあり、やりがいを感じやすい職場です。

我が国を取り巻く安全保障環境は日に日に厳しくなっており、私達に対してもより深い分析が求められるようになってきています。ただ、情報本部ではこのような難しい業務を遂行するため、様々な研修等が用意されています。私は修士課程のみならず、博士課程へ入学する機会にも恵まれ、担当分野について研鑽を積むことができました。この他、海外で勤務した際は、現地の有識者との交流を通じ、語学力、コミュニケーション能力の向上を実感できたとともに、報道等では得られない「生きた知識」を吸収することができました。自身の成長を感じたい方、知的好奇心を満たしたい方、そうした方々と一緒に勤務できることを楽しみにしています。

技術系(大卒)・入省1年目・男性

自分の力が、国防につながる

私の担当業務は、諸外国の航空兵器の一部について技術的視点から分析し、性能を明らかにすることです。諸外国の兵器性能に関する情報は、我が国の防衛政策を決定するうえで非常に重要な情報といえます。

しかしながら、通常、諸外国の兵器情報はオープンにされていないことが多いため、情報本部では画像分析やシミュレーションなどを用いて、多角的な分析を行い、兵器性能を導き出して作戦部隊等に提供しています。

このような話を聞くと高度で難解なものに聞こえるかもしれませんが、その基礎となるのは高校・大学で学ぶ物理や力学の知識です。この基礎知識に、各種研修や海外との交流などで得られる専門的知識を統合することで、正確な技術分析の力を身につけています。私も、大学までに学んだ物理・力学・機械工学の知識をフル活用して分析を行っており、自分の持っている知識が分析の様々な面で役立っていることを日々実感しています。

このような諸外国の兵器性能の分析任務は国防に直結する極めて重要なものと感じています。責任は大きいですが、その分やりがいも格別です。我が国の安全保障に自らの力で直接貢献できるという点で、唯一無二の経験ができる職場だと思います。自分の経験や能力を活かして仕事をしたいという皆さん、ぜひ情報本部を志望してみてはいかがでしょうか。

画像・地理部

画像・地理空間情報で支える安全保障の礎

衛星から撮影した地上の画像を収集・分析し、デジタル地図等を活用した空間分析により、政府や自衛隊に画像・地理空間情報を提供することで、安全を守るための判断や平和を維持する活動に役立てています。

語学系職員

国際政治等の知見や高度な語学力を生かして、画像解析等に必要な海外情報を収集し、整理・分析します。こうした情報は、国の安全保障や外交政策を考える際に役立ちます。また、国際会議の企画や参加を通じて、他国の関係者と情報を交換し、協力関係を築く役割も担っています。

行政(事務)職員

分析官として、衛星画像に写っている対象を、場所や時間の流れに沿って読み取り、軍事や政治、経済などさまざまな視点から分析します。その結果をもとに、政策立案部門等に情報を提供します。また、海外に派遣される自衛隊の部隊に対して現地での活動に必要な地図や地理情報を整備し、提供する役割も担っています。

技術系職員

分析業務に加え、これらの業務の効率化に関わる研究開発にも携わっています。例えば地図や位置情報を扱う「空間情報処理」や、遠くから地表の様子を調べる「リモートセンシング」、「AI」などの最新技術を活用して、より創造的で高度な業務を行っています。また、新たな技術を盛り込んだ衛星の研究にも取り組んでいます。

事務系(高卒)・入省4年目・女性

インテリジェンスで国防を担う

皆さんは、インフォメーションとインテリジェンスの違いは何か、ご存知でしょうか？情報本部の「情報」とは、インフォメーションではなくインテリジェンス。同じ「情報」でも、意味が異なります。インフォメーションはデータそのものを指しますが、それを分析・解析することによって得られた情報をインテリジェンスといいます。私が所属する画像・地理部では、画像や地理分野のインフォメーションを自分たちの手で分析・解析してインテリジェンスに昇華させ、カスタマーに提供しています。

私は、インテリジェンスの世界で国防を担う情報本部に興味を持ち、入省を決めました。現在は、画像情報の解析業務に従事しています。解析によって得られた情報は、内閣総理大臣をはじめとする政策決定者や、陸海空自衛隊の部隊運用者に提供することもあり、画像からいかに多くの情報を得られるかが重要になります。多くの情報を得るには、様々な知識や広い視野を持たなければなりません。そのため、日頃から多種多様な情報に対してアンテナを張り、広い視野で物事を見るようにしています。

情報本部はあまり表には出ない存在ですが、重要な役割を担っている縁の下の力持ちのような組織です。もしインテリジェンスの世界に興味を持っていただけたなら、ぜひ情報本部を目指してみてください！

技術系(大卒)・入省9年目・男性

情報業務を技術の面で支援する

私の所属する画像・地理部は、画像や地図といった地理空間情報を取り扱っています。地理空間情報業務と聞くとなじみのない方が多いと思いますが、大学の研究で学んだ論文調査・作成、実験方法、実験データの統計的処理等の基本的な理系スキルが、大変役に立っています。

私の現在の主な業務は、地理空間情報を取り扱うシステムの開発に必要な最先端技術の調査・研究です。例えば、AI分野に特化した大学院で、AIプログラムの研究を行ったり、米国で開催されたシンポジウムに参加し、最新の製品・技術・研究の調査等を実施しています。また、現行システムでAI技術を活用した画像解析の維持・改善に関わる業務にも取り組んでいます。たとえ、私のように本分野が専門外であっても、AI技術を始めとした様々な教育機会が用意されており、一から学ぶことが可能です。

研究・開発業務は高度で困難な内容を含みますが、自分の開発したシステムが実際に画像・地理情報の収集、判読及び分析等の現場で活用されている姿を目にした時は、大きなやりがいや達成感を感じることができます。技術から情報業務を支えてみたいと思う皆さん、是非一緒に我が国最大の情報機関である情報本部で働いてみませんか？

電波部 最先端の領域で活躍する電波情報部門

北海道から九州に至る全国6か所の通信所において収集した各種電波情報の調査・解析を行うとともに、国の安全保障に必要な情報を政府機関、防衛省内部部局・自衛隊の部隊等へ提供しています。

令和7年度にサイバー対処能力強化法が成立し、能動的サイバー防御（Active Cyber Defense(略称：ACD)）※が実施されることになりました。電波部には、我が国に対するサイバー攻撃の実態を把握するための「通信情報の利用」に関する任務が与えられる予定です。電波部では、巧妙化・深刻化するサイバー脅威をいち早く察知するため、ACDという新たな任務に共に挑戦する人材を求めています。

※能動的サイバー防御（Active Cyber Defense(略称：ACD)）とは？
外部からのサイバー脅威を事前に検知し、脅威が顕在化する前に対応策を講ずることにより、サイバー攻撃の発生と被害の拡大を未然に防ぐ任務

語学系職員

高い語学力や専門的知識を生かし、情報資料の収集、翻訳、調査・分析等を行い、自衛隊の運用に関する判断に必要となる情報資料を作成します。

技術（研究職）系職員及び行政（技術）系職員

サイバーセキュリティに関する技術、ＡＩに関する技術、電気通信工学、暗号技術、数学、プログラミング等の専門知識・技能を生かし、サイバー空間における情報収集、各種電波の信号諸元の解明、調査研究の他、電波収集器材の開発等の業務に従事します。

Message

技術系(大卒)・入省9年目・女性

信号の解析・研究で国防を支える

私は現在、電波部で信号解析業務に従事しています。信号解析業務は、数学や通信工学、情報工学などの知識を活用して問題解決に取り組んでいく業務です。元々国防に興味があり、その中で情報本部では解析業務という研究のようなことをしていると聞き、国防のための電波や情報の研究とはどのような業務なのか興味を惹かれたため志望しました。

大学の専攻とは異なる知識を必要とする業務だったので不安もありましたが、教育が充実しており、業務に必要な知識や技術は入省後に基礎から学ぶことができました。教育後も、最新の技術や理論を日々自学研鑽しながら解析業務に取り組んでいます。

各々が自身にあった働き方をできる職場なので、個人で解析や研究に没頭することも、同僚に相談しながら解決策を見出していくこともできます。困難な問題に直面した際に、様々な方向からアプローチをして苦労の末に解析の成果を得た時には、自分が国防という誇りある仕事を担っているという実感を得ることができます。

理系の知見を活かして国の安全保障に直接貢献できるのは、情報本部の技術系職員ならではの魅力だと思います。ここでしかできない仕事に興味がある方は、是非情報本部を志望されてはいかがでしょうか。

Message

技術系(高卒)・入省8年目・男性

技術で、暗闇を照らす

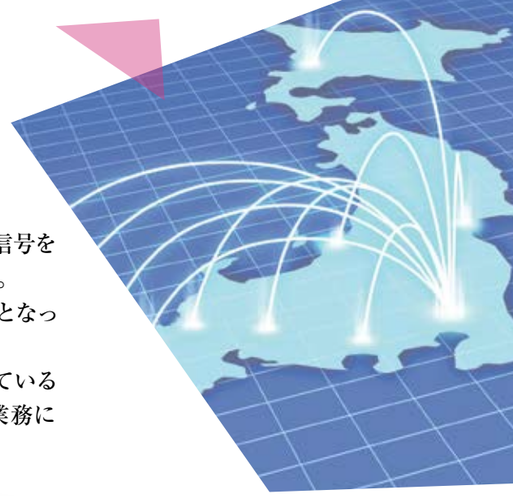
私は学生時代から国家の安全保障に関心があり、自らのスキルが政府機関や防衛省における意思決定に貢献できると考え、防衛省、情報本部を志望しました。入省した後は、数年ほど通信所に勤務したのち、現在、電波部に所属しています。

電波部では、高度な知識や技能を持った自衛官と事務官・技官が「一丸」となって協力しながら、日々、国家の安全保障に必要不可欠な業務を行っています。プレッシャーを感じることもありますが、やりがいと充実感を感じながら勤務しています。

情報本部にはスキルアップの機会が充実しており、専門教育や研修の機会を生かして、新たなスキルを開花させたり、自らのスキルをさらに磨いたりすることができます。実際に私は、採用された時点ではITの知識や能力をほとんど持っていませんでしたが、専門教育や研修に参加するなかで、まだまだ未熟ではありますが、ITの知識や能力を身につけることが出来ました。

情報本部の魅力はここに書ききれないほどありますが、自分が頑張りたいと思ったことを、上司や同僚が応援してくれる雰囲気や、それを支援する制度が整っていることが一番の魅力だと思います。

これを読んでいる皆さまと共に勤務できることを楽しみにしています。



通信所 国防の最前線の現場で活躍する通信所

全国6か所に所在する通信所において、我が国上空に飛来する電波信号を収集し、分類・整理及び内容を精査し、迅速に電波部へ伝送しています。
通信所においては、事務官・技官と陸・海・空の自衛官が協力して一丸となって、こうした業務を担っています。

また、自ら収集・調査した電波情報が、国の安全保障の一端を支えているという高い誇りと強い責任感をもって、国防の最前線の現場で日々の業務に取り組んでいます。

技術系職員

電波情報の収集・整理等の業務に必要な導入教育及び各種研修（約1年間）を終了した後、各通信所へ配置され、それぞれの適性に応じて、情報通信技術及び語学等の専門知識や技能、情報セキュリティ、ネットワーク、プログラミングなどの高度なＩＴ技術を修得し、秘匿度の高い電波情報の収集・整理等の業務に従事します。
また、一定期間通信所で勤務した後、電波部で勤務することも可能です。

Message

事務系(高卒)・入省16年目・女性

情報のプロとして国防に携わる

私はこれまで通信所で収集業務や情報セキュリティに関する業務に従事してきました。収集業務では長期的に分析や調査が必要なもの、即時性が求められるものなど、様々な特性を持った業務がありますが、自分が携わった内容を報道で目にする場面もあり、国防に直結している実感を得るとともに、大きな充実感とやりがいを感じることができます。

現在は情報セキュリティに関する業務に従事していますが、最初は特別な知識を何も持っていませんでした。そのような中でも、必要な知識や資格を習得するための教育環境が充実しているため、新たな分野にも意欲的に挑戦することができます。

業務だけでなく、ワークライフバランスが整っている点も魅力の一つです。私は二児の母親ですが、保育園への送迎時間を確保するため、早出勤務という勤務形態を選択しています。同じ所内で勤務する夫は遅出勤務を選択し、協力して朝夕の送迎をしています。他にも働くパパママを後押しする制度が充実しており、ライフステージが変化しても安心して勤務を続けることができます。

新たな分野の学びに興味がある、自分のスキルを国防に役立ててみたい、そのような方はぜひ情報本部を志望されてみてはいかがでしょうか。皆さんと一緒に勤務できる日を心待ちにしています。

Message

技術系(高卒)・入省10年目・男性

安心して成長できる職場

私は、日本の安全保障環境が日々厳しさを増す中、私自身もその一端を担いたいという強い思いから防衛省を志望しました。その中で情報本部のパンフレットを拝見し、そこで紹介されていた業務内容に大きな魅力を感じたことも志望動機の一つです。

現在は情報本部の通信所において電波情報を収集し調査を行う業務に携わっており、ネットワークに関する知識やプログラミングなどITスキルを習得しながら日々の業務に取り組んでいます。

リアルタイムで得られる多様な情報を扱うこの業務は、日本の国防に直結する重要な分野であり、社会貢献を実感できるやりがいのある仕事です。また、ワークライフバランスにおける、早出・遅出勤務制度の活用や各種休暇の取得もしやすく、子育てと業務の両立も可能であり、非常に働きやすい環境が整っています。私自身も大いに活用させていただいており、この職場で働けて良かった点の一つだと感じています。

情報本部では、入省後のOJTや外部委託による研修制度など、教育体制が大変充実しており、専門知識がない方でも安心して成長していける職場環境です。ご興味を持たれた方は是非、説明会等に参加していただけたらと思います。皆さんと共に国防の一端を担い、責任と誇りを持って働ける日を心より楽しみにしております。

語学力を活かし将来の分析官を目指したいあなたへ

防衛省専門職員採用試験

概要

防衛省専門職員採用試験の試験区分「英語・ロシア語・中国語・朝鮮語・アラビア語・インドネシア語・フランス語・ペルシャ語」の合格者から、高い語学力に加え、我が国の安全保障や諸外国・地域の情勢(政治・外交・文化・民族問題等)への関心があり、論理的思考能力や表現能力に優れた人材を採用します。年度により採用言語が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

専門語学能力を駆使して、国際関係や軍事情勢など日々収集される情報の処理や分析、安全保障に資する各種資料の作成・報告等にかかわる業務に従事します。また、同盟国等との情報交流や情報の収集・分析にかかわる企画・立案等に携わる機会もあります。

求める人材

語学力・知識を生かす人材

語学力や国際関係・安全保障に関する知識を生かしつつ、同分野でのトレンドを追うことに意欲的かつ国内外へのプレゼン、同盟国等との情報交流、情報本部の能力強化のための企画立案にも前向きな人材を求めています。

キャリアパスの一例

行政職（語学系）

(総合的な情報の分析等に携わる職員の場合。
数次は標準的な年次を示す。)

1年目～	係員・調査員	充実した各種研修(部内外、国内外)等により職務に必要な語学能力、分析能力の向上を図り、担当地域における情勢分析の係員として活躍します。
8年目～	専門官～分析官	情報資料の収集・分析等を行う情報の専門家として活躍するほか、必要に応じ情報本部内の各部署、本省(内部部局)、省内他機関や情報コミュニティとの人事交流による幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。
15年目～	分析官～主任分析官	政府の政策に資する情報分析を行う情報のプロフェッショナルとして活躍します。
32年目～	管理職	各部門の責任者として活躍します。

計画部 語学系・入省29年目・男性

情報本部とともに歩んだ29年

29年前、情報本部が発足した春、満開の桜に包まれた防衛庁に足を踏み入れました。以来、私のキャリアは、内部部局、在外公館、そして情報本部1期生として、情報本部を軸に歩んできました。

これまで、それぞれ全く異なる業務に当初は戸惑うこともありました。しかし、各国との防衛交流を担う政策部門での経験や、現地の文化に直接触れる在外公館での勤務は、役割を拡大し続ける情報本部での業務に、確かな力として生かされています。

昨年、個人的な挑戦としてトライアスロンを始めました。スイム・バイク・ランという異なる種目をこなす持久力とバランス、そして周囲の応援が大きな支えになる点は、これまでのキャリアにも通じるものがあります。

今後も情報本部が担う役割と責任は、ますます大きくなっていくと思います。これからも、上司や仲間、そして家族の応援を糧に、完走を目指して走り続けたいと思います。

私のキャリアパス

- **1年目** ■ 初任時教育
  分析部(情報調査専門官)
  翻訳・分析・報告
- **5年目**
  在中国日本大使館(三等書記官)
  邦人保護を含む領事業務全般
- **8年目**
  内部部局国際企画課(主任)
  防衛交流企画・通訳
- **10年目** ■ 陸上自衛隊管理課程
  陸上自衛隊小平学校(教官)
  陸海空自衛官・事務官への中国語教育
- **12年目**
  分析部(班長)
  軍事・政策に係る分析・報告の指導
- **16年目** ■ 内局語学研修
  内部部局国際政策課(部員)
  不測事態の軍事連絡体制の構築
- **18年目** ■ 内局上級研修 PKOセンター国連PKO研修
  電波部(班長)
  各部門の協業促進・リソースの最適配分
- **21年目**
  在タイ日本大使館(一等書記官)
  東南アジア地域情勢に係る現地調査
- **25年目** ■ CSIS研修 情報本部上級分析官研修
  分析部(主任分析官)
  オールソース分析の推進、分析手法の活用
- **29年目**
  計画部(情報官室長)
  オールソース分析による官邸への報告に係る各部門間調整

VOICE | 職員の声

係員級（入省2～5年）　係長級（入省10年前後）　分析官級（入省15年前後）

Q 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください！

A 研修や教育の機会が充実しています。私自身もこれまでに語学(通訳)学校や、海外での研修、海外の大学院留学などの機会をいただき、業務に関連する学びを深めることができました。

A 国防を情報活動の面で支援することができるというのが、一番の魅力です。その過程で、軍事、政治、外交、文化及び科学技術等、様々な分野を学ぶことができ、常に知的好奇心が満たされます。

Q 情報本部を志望した理由を教えてください！

A 大学では歴史学を専攻しており、国際情勢や安全保障に詳しいわけではなかったのですが、事象の「なぜ」を追求することが分析業務に通じるところがあるのではないかと思ったことに加え、語学力を活かせることも魅力に感じ志望しました。

A 旧陸軍将校の堀栄三氏が、戦時中、米国の株価のラジオ放送を手掛かりに、米軍の上陸作戦が行われる時期を予測したという話に感銘を受け、日本の防衛に役立つ情報分析ができる組織を探したところ、情報本部を見つけ、目指すことにしました。

Q 情報本部を目指している方へのメッセージ

A インテリジェンスは、情報分析だけでなく、それを生み出す仕組みと活かす行動まで含めた総合的な営みです。情報本部を目指す場合、これを念頭に、自分がやりたいことであるのか、そのために自分をいかに変えていけるかの2点を考える必要があります。

A 情報本部での業務は、国際情勢について考えることが好きな人や、一つの分野を極めることが好きな人、また、高い言語能力を活かして仕事をしたい人にぴったりだと思います。一緒に働けることを楽しみにしています！

Q これまでの勤務で印象に残ったエピソードについて教えてください！

A 情報本部には、防衛省の他部署と比較して多様な語学の採用が行われているため、情報関連以外でも、専門の言語の通訳支援の依頼が来ることがあります。こんな場面での通訳も求められるのか！と驚くような案件が印象に残っています。

A 入省2年目に、自分の作成したプレゼンを高官に発表する機会を得たことです。作成の過程には苦しい場面も多々ありましたが、様々な場面で発表する機会をいただいたことで、より一層自分の理解も深まり、業務に対する自信もつきました。

Q 入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良いことを教えてください！

A プライベートでは、就職すると難しくなる長期間の海外旅行をしておいて良かったです。仕事面では、特に語学の試験を受けて入省される方は、採用の言語にかかわらず英語はよく使いますので、勉強しておくと役に立つと思います。

A 語学職を受ける場合は、簡単な逐次通訳ができることを目標に語学の研鑽に励んだ方が良いです。また、自衛官でなくても防衛省の職員であるので、軍事的素養を身に着けるべく、戦史及び代表的な兵器の役割を一般書籍で理解することもお勧めします。

Q 情報本部の仕事のやりがいについて教えてください！

A 国際情勢がダイナミックに動き、安全保障やインテリジェンスの重要性が増すなか、一分析官として情勢に関し高官等に説明や報告、見解を求められることも多く、日本の安全保障においてその重要な一端を担っていると感じることができます。

数理的センスやＩＴスキルを駆使して仕事したい・行政事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

概要

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の試験区分「行政」、「デジタル・電気・電子」及び「機械」（以下、「技術系」という。）、さらに「教養」の合格者から採用します。なお、技術系からの採用者は、配置される職務によって俸給表（行政職又は研究職）が決定されます（入省後、配置換え等により変更する場合もあります）。
このほか、国家公務員採用総合職試験の合格者から採用することがあります。年度により、採用をする試験、試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

教養区分

- 行政区分
  - ■ 人事、給与、会計、機材調達、情報保全保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等
- 技術区分
  - ■ 衛星画像の解析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等
  - ■ 衛星画像の解析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等
  - ■ 統計・代数学、通信工学等の知識を用いた、各種電波信号の解析や収集した電波情報の解析
  - ■ 情報に関する最新技術の調査や通信処理、高速処理技法、符号機構の研究や解析をするためのソフトウェアの開発
  - ■ デジタル、ＩＴの知識を生かしたサイバー領域に関する情報収集・分析やサイバーセキュリティ対策

求める人材

教養区分

- 行政区分
  - **組織の基盤を支える人材**
  - 人事、会計、機材調達、情報保全・情報保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む意欲のある人材を求めています。
- 技術区分
  - **数理的な知識・能力を生かしたい人**
  - 衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

キャリアパスの一例

行政職（行政・技術系）

人事・会計等の業務、衛星画像の解析等に携わる職員の場合（数次は標準的な年次を示す。）

1年目～ 係員	行政区分採用者は管理業務または衛星画像の解析等に従事し、技術系採用者は衛星画像の解析等に従事します。どちらも、充実した各種研修により職務に必要な専門的知識・技能を習得します。
8年目～ 係長・主任	各部門における初級管理者として活躍するほか、必要に応じ本省（内部部局）、省内他機関等との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。
15年目～ 専門官	専門的知見を駆使し各部門における中級管理者として活躍します。
32年目～ 管理職	各部門の責任者として活躍します。

研究職（技術系）

電波情報の解析に携わる職員の場合（数次は標準的な年次を示す。）

1年目～ 係員	充実した各種研修等により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、電波情報の解析等に従事します。
8年目～ 研究員・専門官	各部門における初級管理者として活躍するほか、必要に応じ本省（内部部局）、省内他機関等との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。
22年目～ 主任研究官	専門的知見を駆使し各部門における中級管理者として活躍します。
32年目～ 管理職	各部門の責任者として活躍します。

電波部 技術系(大卒)・入省28年目・男性

未経験者でも務まる職場

私は防衛省に「情報本部」があることを知らなかったのですが、面接で勧められました。情報工学を専攻していたので同じ「情報」なら何かできそうだと入省を決めました。
未経験な分野に配属されましたが、研修と周囲の方々の助けでここまで勤めることができました。必要なのは諦めないことです。また、一般的ではない分野ではパイオニアとして研究をリードし国防へ貢献することができます。

防衛省の業務は皆で協力して実施していくものです。初めは担当の仕事を全うすることが任務です。徐々に年数を経ると後輩の面倒をみることや上司をサポートしてチームとして成果を上げることが求められます。必要なことはコミュニケーションです。苦手としている方もいると思いますが、話すことより、しっかり相手の話を聴くことができれば上手くいきます。

私のキャリアパス

- **1年目** ■ 初任時教育
  電波部
  暗号技術の研究
- **6年目**
  電波部
  信号諸元の解明
- **8年目**
  電波部
  ネットワーク技術の研究
- **10年目** ■ 部内研修(中級)
  電波部
  通信技術の研究
- **17年目** ■ 上級研修(情報本部)
  電波部
  通信技術の研究
- **19年目**
  通信所(係長)
  収集業務
- **23年目**
  電波部
  ソフトウェア開発
- **24-25年目**
  電波部
  ソフトウェア開発
  主任研究官及び班長兼務
- **26-28年目**
  電波部
  信号諸元の解明
  主任研究官及び班長兼務

VOICE | 職員の声

■ 係員級（入省2～5年）　■ 専門官級（入省15年前後）

Q 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください！

A 情報本部は経験や階級より論理性を重視している組織であり、論理的であれば若手でも意見表明がしやすく、風通しの良い職場です。論理的な思考の組み立てが得意な方は、是非志願してください！

A 情報本部では採用2年目からでも主担当として業務を任されることが多いです。責任はとても大きいですが、上司や先輩から多くの経験を得られ、自身の業務スキル向上につながります。

A 陸・海・空自衛隊の各部隊や装備庁、その他各機関から隊員が集まるので、それぞれの良い文化を取り入れて業務を進めることができるほか、経験豊富な隊員が多いので自分では解決できない課題に直面しても解決策を見出すことができます。

A 部内外の研修・教育が充実しているところ、また様々なバックグラウンドを持った方々と一緒に働くことができるところです。個人的には、転勤が少なく基本的に市ヶ谷勤務である点も魅力であると感じています。

Q 情報本部を志望した理由を教えてください！

A 大学院の修士課程から博士課程の間、SAR衛星のレーダー、偏波及び反射に関する研究を行っていました。その研究経験から画像・地理部の画像解析業務に役立てるのではないかと考え志望しました。

A これまでに学んできた知識を活かしたりさらに深めたりできるのではないかと思い、志望しました。実際に働いてみて、苦労することはもちろんありますが、職場の先輩方が丁寧に教えてくださるので日々学ぶことがあり充実感があります。

Q 情報本部の仕事のやりがいについて教えてください！

A 高官への報告資料の作成や分析業務を通じ、日本の安全保障に直接貢献しているという責任と誇りを強く感じています。国家の重要な意思決定を支える役割を担うことで、自身の仕事の意義を実感できます。

Q 入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良いことを教えてください！

A ご自身の卒業研究、大学院修士課程または大学院博士課程の研究が情報本部の業務と関連していると考えているのであれば、短期間ですが卒業発表または論文発表後も継続して研究するのをおすすめします。

A 私は大学で学んだことが役立つ機会が多いため、当時苦手で苦労した内容こそ一生懸命取り組んできてよかったと感じます。一方、英語は学生のうちから触れておけばよかったと後悔するタイミングが多いので、時間のあるときに取り組むことをおすすめします。

Q 情報本部を目指している方へのメッセージ

A 現在、画像・地理部で若手事務官・技官を主対象とする教育改革業務を担当しています。今後、画像・地理部では、年齢・経験はもとよりどのようなスキルを保持するかを評価する、新しい制度を導入します。業務を通じて成長を目指したい方は是非お越しください！

A 情報本部は学歴や社会人経験の有無、公務員試験の順位などは問わず、また、その他さまざまな背景を持つ人を分け隔てなく受け入れる組織です。情報本部を目指されている方、あるいは興味を持たれた方はぜひチャレンジしてみてください。

技術・一般事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）

概要

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）の試験区分「事務」「技術」合格者から採用します。年度により採用をする試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

事務区分
- 人事、給与、行政文書管理、会計、物品の管理等

事務区分/技術区分
- IT、プログラミング、語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、電気・情報、機械等の高い専門知識を備えたプロとして、各通信所における電波情報の収集・整理等
- 衛星画像の解析や海外任務に派遣される自衛隊部隊のオペレーションに必要な現地の地図や地理情報の整備、また、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード、ソフトの研究開発
- デジタル・ITの知識を生かしたサイバー領域に関する情報収集・分析やサイバーセキュリティー対策

求める人材

事務区分　組織の基盤を支える人材

人事、会計、機材調達、情報保全・情報保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む意欲のある人材を求めています。

技術区分　数理的な知識・能力を生かしたい人

衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

キャリアパスの一例

行政職（事務・技術系）

(数次は標準的な年次を示す)

1年目～　係員

事務系
総務系の部署に配置され、人事・給与等の管理業務を担い幅広い業務に従事します。

事務・技術系
充実した各種研修により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、①通信所において電波の収集業務に従事、または②画像・地理部において衛星画像の解析等に従事します。

8年目～　係長・主任

事務系
各部門における初級管理者として活躍する他、必要に応じ本省（内部部局）、省内他機関等との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。

技術系
初級管理者として活躍する他、必要に応じ情報本部内及び他機関との人事交流により幅広い経験を積むことで職務能力の向上を図ります。

32年目～　専門官・班長職

事務系
幅広い経験、知識をもって情報本部各部門の他、省内各機関等の中級管理者として活躍します。

技術系
専門的知見を駆使し情報本部内（画像・地理部、電波部、各通信所等）の各部門における中級管理者として活躍します。

画像・地理部 技術系(高卒)・入省29年目・男性

防衛戦略の一端を担う

私は防衛庁Ⅲ種電気試験（現在の国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）の技術区分）に合格後、情報本部に入庁しました。最初は通信所で電波情報の収集と状況把握を担当し、電波部では庶務補佐や情報解析支援を経験しました。次の通信所では電波情報収集・状況把握の経験を経て、情報解析や日々の報告を行っていました。現在は画像・地理部で画像情報解析を担当しています。業務は地道ですが、全体像及びその中での位置づけを理解することでやりがいを感じます。解析結果は意思決定や災害派遣等の一助にも役立ち、責任の重さを感じます。情報収集や解析は難しそうに見えますが、基本から学べる教育体制やスキルアップの環境が整っており、未経験からでも成長できるのが魅力です。興味を持たれた方は、ぜひ情報本部で新しい挑戦をしてみてください。

私のキャリアパス

- **1年目** ■ 初任時教育
  通信所
  電波情報の収集
- **2年目** ■ 事務官中級係員集合教育
  通信所
  電波情報の収集
- **7年目** ■ 幹部韓国語課程
  通信所
  電波情報の収集
- **12年目**
  電波部
  庶務の補佐・情報の蓄積
- **16年目**
  通信所
  電波情報の収集
- **19年目**
  通信所（専門官）
  収集情報の解析・報告
- **27年目** ■ 幹部画像・地理情報課程
  画像・地理部
  画像情報の解析

VOICE | 職員の声

係員級（入省2～5年）　係長級（入省10年前後）　主任研究官級（入省15年前後）

Q 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください！

A 我が国の防衛における情報の中枢的な役割を担う組織であるため、他の組織では経験することのできないことが多く、とても充実した仕事ができ、やりがいを感じることができること。

A 情報本部は、陸海空の自衛隊・各機関から人を招集しています。その多くが、初めから情報業務に精通している訳ではありません。つまりスタートラインは若手ベテラン関係なく同じで、半ば実力主義であるということです！

Q 情報本部を志望した理由を教えてください！

A 高校時代に学んだ情報技術を活かし、なにか防衛・安全保障に携われる仕事をやってみたいと思い、情報本部を志望しました。

A 工業高校在学中に、“技術を活かした仕事がしたい”と悩んでいた時に出会ったのが情報本部の技術職でした。職務内容がはっきりと明かされていないところに惹かれ、入省当初から高い期待と前向きな気持ちで勤務しておりますが、その想いは今も変わらず持ち続けています。

Q 入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良いことを教えてください！

A 情報本部では、入省後に多くの教育が用意されており、業務に必要な専門知識を学べます。そのため、学生時代等、今しかできないことを経験しておくといいかもしれません。

Q 情報本部の仕事のやりがいについて教えてください！

A 政策判断や部隊運用に必要な情報を扱う仕事であり、国の安全保障の一翼を担っていることを日々実感することができ、やりがいを感じています。

A 自身が作成した報告書が、高官まで届くところです。上司の方々からの熱心な指導により、報告書の質を上げることができ、かつ報告書を作成することで、自身の知識を深めることにも繋がります。

Q これまでの勤務で印象に残ったエピソードについて教えてください！

A とある分析の過程で、ほかの部や関係機関に協力を仰ぐ必要が生じました。そこで上司に掛け合い、必要性を説得し、調整してもらいました。結果、協力を得ることができ、より確度の高い報告物の作成に至りました。

A 速報を要する事象が生起した際、解析から報告書の作成、報告まで1時間足らずで実施した際のチームの団結力に感動しました。チームワークの重要性を改めて認識した1日でした。

Q 情報本部を目指している方へのメッセージ

A 情報本部では、様々な教育が用意されているので、軍事や技術の知識が乏しくても支障ありません。チームで仕事をしていると、自然と知識や技能を吸収することができるので、安心してください。皆様と一緒に収集業務、解析業務をできる日を心待ちにしております！

国内留学

技術系・入省9年目・男性
新たな発見と自分自身の成長

現在の職務内容等について

私は国内大学院で無線通信に関する研究を２年間行い、現在は電波部の研究職技官として我が国に飛来する電波情報の解析に加えて、最新技術の動向調査や研究業務にも従事しています。

留学について

業務に関係する分野について時間をかけて深く考えることが出来たのは本当に貴重な機会でした。得た知識や技術がどのように自分の業務と結びつき、そして活かしていくかを考えながら学ぶのは、入省してから留学をする大きなメリットだと思います。

現在役に立っていることについて

留学で得た無線通信に関する様々な知見は、専門性の高い日々の業務において多くの場面で役立っています。また、専門分野が異なる研究者や学生との交流を通じて、自分とは違う物事の捉え方や問題解決へのアプローチ方法なども知ることができ、業務の参考になっています。

未来の情報本部職員へのメッセージ

今まで学んだ知識、技術、思考力を情報本部でさらに成長させてみませんか。大学院や様々な研修を通じて自分自身の世界を広げ、安全保障という誇りある仕事に活かすことができるのは情報本部ならではの魅力です。皆さんと一緒に成長できるのを楽しみにしています。

在外公館出向

語学系・入省20年目・男性
外交の現場で活躍し自らの見識を深める

メッセージ

在インド日本国大使館政務班で、インドの外交政策（印中、印パキスタン関係等）やシンクタンクとの協力業務、また、当館はブータンも兼轄しているため、日ブータン関係の政務面も担当しています。

担当業務においては、印中関係は国境問題を中心に常にフォローする必要があり、印パキスタン関係では、インド国内で発生したテロをきっかけに２０２５年５月に両国の緊張状態が高まり、赴任国で軍事オペレーションが行われる事態への対応という経験もしました。２０２６年は日ブータン外交関係樹立４０周年であるため、要人往来や周年記念行事の実施が見込まれ、ブータン関連業務も活性化しています。

在外公館勤務は突然「外交官」になることが求められるため戸惑いもありますが、情報本部では情報業務を中心に通訳、渉外・調整業務など多様な経験を積むことができ、その全てが現在の職務に役立っています。入省される皆様が将来在外公館勤務にチャレンジされ、外交の現場で活躍しつつ自らの見識も深められることを楽しみにしています。

国外留学

語学系・入省9年目・男性
あらゆる経験を自らの厚みに

留学の概要について

韓国の大学院修士課程で朝鮮半島における軍事・安全保障を学びました。入省７年目という時期でしたが、学生時代の専攻は安保領域と縁遠かったこともあり、改めて体系的に学んでおきたいというのが大きな動機でした。

留学で学んだことについて

授業では、核抑止理論や朝鮮半島をめぐる政治外交史などを中心に扱い、地域研究の観点から社会・経済などに関しても幅広く受講しました。レポートの作成や討論を通じて、より実用的な韓国語表現も学習できました。

現在役に立っていることについて

留学では、適時性を優先する実務から少し離れ、中長期的な視点で社会や制度の背景を読み解くことを心掛けました。物事を捉える新たな軸が備わり、留学後の業務においても発想の幅の拡大に繋がっていると感じています。

未来の情報本部職員へのメッセージ

情報本部では、組織の一員としてカスタマーの要求に先んじて応えていくことが重要ですが、それは自分を想像の先へと導く機会でもあります。経験は着実に自身に還元され、次の可能性を開きます。新たな一歩を皆さんとともに切り開いていけることを楽しみにしています。

研修について

情報本部には充実した研修機会がありますので、業務に必要な知識やスキルは研修を通して身につけることができ、その後のスキルアップにも活かすことができます。

以下は一例です。

共通

- 初任時教育
- 係員級研修
- 係長級研修
- 情報本部上級研修
- マネジメント研修

防衛省専門職員

- 基礎教育(専門分野)
- 通訳学校語学研修
- 国内外大学院留学(修士課程)
- 米国国防省等研修
- 国内大学院留学(博士課程)
- 上級分析官課程

技術系

- 基礎教育(専門分野)
- 国内留学(修士課程)
- 専門教育（段階、必要に応じて）

分析部/語学系・入省14年目・男性　CASE:1

ある分析官の一日

このストーリーは、情報本部に勤務する、ある分析官（語学職員）及びある技官の業務体験を踏まえ、生起しうる事象を一日に凝縮して書き起こしたセミ・フィクションです。

7:00

7:15 登庁

出勤後すぐに、最新のメールや世界情勢に関する報道をチェックし、迅速に対応すべき案件がないか確認する。防衛省では、ワークライフバランスを重視し、柔軟な働き方を可能にする制度を導入しており、私自身、仕事と育児を両立するために同制度を利用させていただいている。私の場合は、早出勤務にすることで朝の時間を有効に使い、帰宅時間を早めて育児と家事に充てている。

8:00

7:30 情報収集・整理

担当している安全保障上の関心事項について、情報の収集・整理を行う。公刊情報はもちろんのこと、防衛省・自衛隊が独自に入手した情報、部外から提供された情報を含め、あらゆる情報源を探索する必要がある。重要な情報については、真偽を含めて事実関係や背景事情を整理し、初期分析を行う。地味で根気のいる作業だが、この日々の積み重ねがインテリジェンスには欠かせない。

9:00

9:00 MTG

定例的なオンラインミーティングに参加する。私の職場では、業務の効率性向上や働き方改革の一環として、会議をオンラインで行う機会が増えている。会議では、重要な情報の共有や意思決定の伝達がスピーディに実施される。

10:00

9:15 プロダクトの作成

情報収集の結果判明した重要な事象について、分析プロダクトを作成する。今回は、当該事象が地域秩序や我が国の安全保障にどのような影響を与え得るのかを分析する。分析内容の正確性だけでなく、タイムリーに資料をカスタマーに提供する適時性が求められるため、本日中の完成を目指す。

11:00

12:00

12:00 昼休み

プロダクトの完成に目途がついたので、昼休みに入る。ランチはお弁当を持参することが多いが、同僚や同期と外食に出かけることもある。食後は読書やパワーナップで気持ちを切り替え、午後の業務に集中できるようリラックスする。

13:00

13:00 プロダクトの完成

午後は、分析プロダクトの仕上げに集中する。関係部署に意見照会を行い、主任分析官に分析の妥当性や論理性等の基準を満たしているかなどを確認していただく。フィードバックを反映して修正。無事に完成した資料は所定の手続きを経て、省内外へ配布される。

14:00

15:00

15:00 打ち合わせ

後輩が担当を任されているブリーフィング資料について、チーム内で打ち合わせを行う。省内の政策や運用サイドの意思決定者が多数出席する重要な会議に向けた報告であり、高いパフォーマンスが要求される。担当者から報告内容の構想について説明を受けたのち、分析の質をより洗練させるためにはどうしたらよいか、皆でアイデアを出し合う。

16:00

16:00 退庁

新たに重要な情報が更新されていないかを確認したら、明日のTo Doリストを簡単に作成し、定時で退庁する。帰宅後は、夕食を作ったり、わが子の世話をしたり、家族との時間を大切にしている。家族の笑顔を見ることで、明日の任務への意欲がさらに高まる。

17:00

CASE:2　画像・地理部/技術系（大卒）・入省4年目・男性

ある技官の一日

7:00

8:30 登庁

職場に到着次第、省内及び民間業者からのメールを確認し、自身の業務の優先順位を整理する。また、チームで仕事をすることが多いため、メンバー内で各々の進捗やスケジュールを共有し、作業の重複や情報の伝達漏れがないか確認を行う。状況に応じて簡単なミーティングを行い、全体の方向性を話し合う。

8:00

9:30 MTG(業者)

現在進めているプロジェクトにおいて、民間業者と調整会議を実施する。会議では、技術的仕様や運用体制に関する詳細を議論するため、調整事項については事前に上司と相談し、必要な資料や検討項目を準備しておくことが重要だ。

9:00

11:00 情報収集

午前中の会議を終えたところで、最新の技術情報を収集する。昨今では、技術の革新が進んでおり、最先端の技術が次々と導入されている。こうした動向を的確に把握することで現行プロジェクトの改善や将来的な検討に繋げていく。

10:00

11:00

12:00 昼休み

昼食はお弁当を持参している。食後には、執務室内で短時間の仮眠を取るようにしている。昼休み中は周囲も静かになるため、すぐに深い眠りに入ることができ、午後の業務に向けて心身をリフレッシュしている。

12:00

13:00 MTG(部内)

週に1度開催される部内ミーティングでは、現在進行中のプロジェクトの進捗状況を報告するとともに、分析業務に携わる関係者から意見や要望を聞き取る。また、当ミーティングでは他チームの取組状況や直面している課題が共有されるため、部内での連携強化において重要な場となっている。

13:00

14:30 MTG(他機関)

担当分野に関して、他機関の職員との意見交換を実施する。防衛省では、情報本部のみならず複数の機関が関連するプロジェクトを進めているため、意見交換を通じて先行的な取り組みに関する知見を得ることができる。

14:00

15:30 事前説明

別途進行中のプロジェクトに関し、防衛省外の専門家を招いた評価委員会の開催に先立ち、上司に対しプロジェクト概要、評価委員会の進め方及び想定論点について説明し、フィードバックを受ける。

15:00

16:00 資料作成

翌日以降に使用するミーティング資料を作成する。概要がまとまった段階で上司に確認していただき、適宜修正を加えながら完成させていく。時間に余裕があるため関連情報を調査し、関係者からの質問に対応できるよう準備しておこう。

16:00

17:15 退庁

メールチェックを終えてから速やかに退庁。身体を動かすことが好きなため、帰宅後はリフレッシュも兼ねてランニングに出かけることも。月末にはマラソン大会を控えているため、今日は気合を入れて長めに走る予定だ。

17:00

入省1年目職員アンケート

語	語学系	高	事務・技術（高卒者）	社	社会人経験者
大（技）	技術（大卒程度）	大（行）	行政（大卒程度）		

Q1 情報本部を志望した理由を教えてください！

語 政策決定者が、国家の意思決定を下す際の知識の基盤となる、情報本部のプロダクトを作成したかったから。

大（技） 自分の学んでいた工学の知識をインテリジェンスに活かせると思ったから。

高 説明会に参加した際、話せないことが多く秘密にあふれており好奇心がそそられたから。

社 自衛隊に興味があったから。スケールの大きい仕事ができそうだと思ったから。

Q2 入省前後で感じたギャップを教えてください！

語 各個人で業務を進めているイメージを持っていたが、実際にはチームで業務に取り組んでいること。

語 上司は、プロダクトの推敲に関して、新入職員相手でも特定分野の担当者として対等に議論してくれる点。

高 公務員ということもあり堅いイメージをもっていたが、自衛官・事務官共に仲が良く和気あいあいとしていて働きやすい環境だと感じた。

社 語学以外にも技術系の知識等、新しく勉強することが予想以上に多かった。

Q3 これまでの業務で印象に残っていることを教えてください！

語 自分が作成に携わった資料が政策決定者から好評を得たと聞いたとき、やりがいを感じた。

語 多国間の関係機関との会議に参加したこと。

高 様々な駐屯地や基地、関連機関等で研修する機会があり、実際に現地に行ったことで、画像や資料等のみからは得られないものを得る等貴重な体験ができて良かった。

Q4 試験や官庁訪問、採用面接でのエピソードがあれば教えてください！

語 採用面接が午前にあったのですが、開放感から終了直後にその場で新幹線を予約し、午後に地方の実家に帰省しました（笑）

大（行） 官庁訪問にて業務への関心の高さを伝え、無事採用面接。自分の興味関心を包み隠さず伝えることが大事。

高 情報本部という組織についてあまり知らなかったのですが、官庁訪問時に職員の方々が丁寧に説明してくださり、面接でも落ち着いて話すことができました。

Q5 役に立った試験対策があれば教えてください！

語 防衛白書や各種メディアを通して、自分がどのような業務に携わっていきたいのかなど、日頃から問題意識を高めておくと面接対策に繋がった。

大（行） 多くの説明会に参加したことで各省庁の特徴や共通点を見つけることができ、面接対策するうえで役に立った。

社 入省後、これまでの経験を踏まえて何ができるか、何をしたいかを明確化すること。

Q6 内定後から採用までの思い出を教えてください！

語 春休みに大学同期と海外旅行に行き、安宿に泊まり、移動に次ぐ移動の強行軍を楽しんだ。

語 語学の勉強や、安全保障分野の書籍を読むように心がけていた。

大（行） その時に関わりのある人達(同期、サークルの先輩後輩、友達)とたくさん会った。出会った縁を大切に！

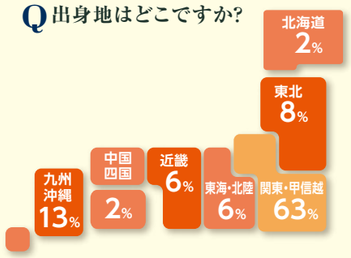
高 学割が使える最後のチャンスだと思い友人とテーマパークなどに沢山遊びに行った。

Q7 情報本部の志望者へのメッセージをお願いします！

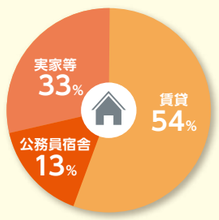
語 自分の持つ知識や技能が政策決定へ影響を与え、ひいては国民の皆様の安全に結び付くという点において、プレッシャーがありつつも、やりがいが非常にある組織だと思います。頑張ってください！

大（技） 世間にはない、ここでしかできない仕事があります。あなたもチャレンジしてみては。

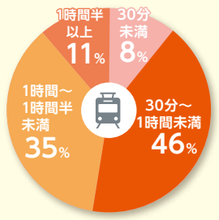
Q 出身地はどこですか？



Q 住居の形態は？



Q 通勤(片道)にかかる時間は？



Work & Life Balance

ワークライフバランスを支える制度

全ての職員が働きやすい職場となるように、
育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、
職員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を推進しています。

休暇

年次休暇(20日/年)
※4月1日採用の場合、採用の年は15日。
残日数は20日を限度に翌年に繰越

特別休暇
年末年始(6日) / 夏季(3日)
結婚・忌引き

GW、夏季、年末年始は、取得時期をずらす等の工夫をしつつ、
10日以上の休暇が取れるように取り組んでいます!

出産に関する休暇

- 産前・産後休暇
- 配偶者の出産特別休暇
- 育児参加のための特別休暇
- 妊産婦の保健指導・健康診断のための特別休暇
- 休息・補食のための特別休暇
- 通勤緩和のための特別休暇
- 出生サポート(不妊治療に係る通院等)のための特別休暇

育児に関する休暇

- 育児休業
- 保育時間確保のための特別休暇
- 子の看護のための特別休暇

その他の制度

- 介護休暇
- 配偶者同行休業
- フレックスタイム制
- テレワーク育児時間
- 育児短時間勤務
- 早出遅出勤務
- 超過勤務の制限等

「女性職員活躍とワークライフバランスの推進」
https://www.mod.go.jp/j/profile/worklife/index.html

上記は一例です。
制度の概要等、詳しくはコチラをチェック

WLBについての職員の声

無理なく仕事と家庭の両立ができます

入省21年目・女性

子育てのためフレックスタイム制を利用しており、夫と交互に早出と遅出を組み合わせて勤務しています。また、テレワーク勤務と休暇を併用するなどして、学校行事にも参加しています。WLBにとても理解のある職場で、無理なく両立することができています。

パパはスタートダッシュが肝心

入省10年目・男性

第一子誕生の日から計1か月の育休を取得しました。職場からの後押しや配慮もあり、無事に出産の立ち会いから入院期間中の面会、退院後の育児に至るまで、100%取り組むことができました。現在、時間効率を意識した働き方を意識し、育児との両立を図っています。

採用担当がお答えします!

防衛省専門職員採用試験

Q どれくらいの語学力が必要とされますか。

A 専門職員には、語学力を駆使し、各言語で発信される様々な情報を収集し、日本語でまとめる能力や、各国のカウンターパートとの交流における渉外・通訳業務を行う能力が求められていくことになります。採用試験に合格するだけの語学力があれば、入省後の語学研修や業務経験を通じ、語学力を向上させていくことができます。

Q 主な勤務地はどこですか。転勤の可能性はありますか。

A 主に市ヶ谷に勤務し、他機関、他省庁で勤務する場合でも勤務地は基本的に東京都内となります。このほか、海外で勤務する機会もありますが、国内で転居を伴う異動を求められる可能性は基本的にはありませんので、ライフプランが立てやすい環境で勤務することができます。

Q 過去の試験問題は入手できますか。

A 情報公開制度に基づき請求することができます。ただし、お手元に届くまでに2か月程度かかりますのでご注意ください。なお、論文試験問題は防衛省ホームページにおいて公表しています。

Q 分析業務を専門的に行うことができますか。

A 情報本部で行う業務において、分析業務は柱となる業務ですが、そのほかにも、渉外、調整、企画、行政等に関する業務があり、専門職員もこれらの業務を経験することがあります。また、省内の他機関、他省庁等においても、同様の業務を経験することがあります。こうした多様な経験を積むことで、カスタマー目線を養い、俯瞰的視野を持つ情報のプロフェッショナルとなることが期待されています。

Q 採用言語以外の言語を活用することはできますか。

A 情報本部では、例えば、試験区分「英語」で採用されても、その他の言語の語学力も生かして活躍している職員が少なからずいるなど、語学力を発揮できる舞台が広がっています。情報本部であなたの語学力をいかんなく発揮してください。

Q 留学や在外公館勤務の要員はどのように選抜されるのですか。

A 業務遂行能力、勤務ぶり、語学力、将来性等を総合的に勘案して選抜しています。情報本部では、留学や在外公館出向以外にも、省内の他機関、他省庁、海外における勤務や研修を通じ、活躍し、視野を広げる機会があります。

国家一般職試験（大卒程度）

Q 主な配置はどこですか。また、どのように決定されますか。

A 技術系は主に本部（市ヶ谷）において、電波業務、画像解析業務、分析業務に従事することになります。行政系は、主に本部（市ヶ谷）において、管理業務、画像解析業務に従事します。初配置は、官庁訪問・採用面接を通じて、本人の希望及び適性を考慮して決定されます。また、どちらも内部部局や防衛省内の他機関への人事交流の機会もあります。

Q 技術系で行政職と研究職はどのように決定されますか。

A 官庁訪問や採用面接等において、希望をお聞きします。本人の希望・適性を考慮したうえで決定されます。

国家一般職試験（高卒者）

Q 配置はどのように決定されますか。

A 技術系は電波業務、画像解析業務に従事することになります。事務系は、電波業務、画像解析業務、管理業務に従事します。初配置は、官庁訪問・採用面接を通じて、本人の希望及び適正を考慮して決定されます。また、内部部局や防衛省内の他機関への人事交流の機会もあります。

Q 勤務地はどこですか。

A 市ヶ谷もしくは各通信所での勤務となります。通信所配属の方は、研修を受けたのち、全国6か所（北海道、新潟、埼玉、鳥取、福岡、鹿児島）に所在する通信所のいずれかで勤務します。

各試験共通

Q 私生活上の制限はありますか。

A 特段私生活に対する制限はありません。私的な海外渡航についても、外務省の海外安全ホームページで渡航先に関する危険情報の有無を確認するなどした上で事前申請等の所定の手続を行うことにより、原則として認められます。なお、職務内容をみだりに漏洩する等、国や国民に損失を与えることがないよう公務員としての倫理が求められるのは一般の公務員と同様です。

Q 学歴、新卒・既卒、年齢等は採用の選考基準となりますか。

A 情報本部で採用された職員の経歴は、専攻、学歴、職歴の何においても多種多様です。経歴や年齢に関わらず、情報本部の業務に関心を持つ方は、是非積極的に受験してください。

Q ACD業務に興味があるのですが。

A 情報本部では現在、サイバーセキュリティに興味のある人、ITスキルを活かしたい人、ITに興味のある人を募集しています。ACD業務に求める人材や教育制度等の具体的な内容については、情報本部のHP・Instagram・Xで発信しています。

Q 情報本部の求める人物像を教えてください。

A 採用試験概要のページに掲載をしておりますのでご覧ください。また、補足とさせていただきますが、情報本部では全てに共通して、コミュニケーション能力を強みとする方を求めています。情報本部の職員は「一丸」のスローガンの下、個人ではなくチームで協力し合い業務に従事しており、面接の際も、情報本部に対する熱意に加えてコミュニケーション能力を重視しております。

Q 残業や休日勤務はありますか。

A 情報本部は、我が国の安全保障に関わるあらゆる事象を分析し、カスタマーニーズに応じた情報プロダクトをタイムリーに提供することを任務としていますので、状況によっては課業時間外であっても対応が求められる場合があります。情報業務に携わる者の宿命ではありますが、超過勤務手当や代休取得に関する制度が設けられていますので、オンとオフをうまく切り替えてプライベートを充実させることができます。

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下表は、新規卒業者で市ヶ谷地区に勤務した場合の一例で、地域手当(20%)と本府省業務調整手当を含みます。なお、各試験区分において基準となる学歴(高卒、大卒) 以降の経歴は、経験年数として換算し、初任給に反映されます。

防衛省専門職員	行政職俸給表(一)	1級25号俸	287,600円
一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一)	1級25号俸	287,600円
	研究職俸給表	1級25号俸	295,520円
一般職(高卒者)	行政職俸給表(一)	1級5号俸	249,560円

※一般職(社会人(係員級))の採用時の給与は、採用前の経歴により異なります。

防衛研究図書館

防衛省図書館

託児施設

各種手当

- ■扶養手当……扶養親族(子等)のある者に、月額13,000円等
- ■住居手当……借家居住者等に、月額最高 28,000円
- ■通勤手当……交通機関等利用者に、1箇月最高150,000円
- ■その他……超過勤務手当、地域に応じた各種手当等
- ■期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)…1年間に俸給などの4.65ヶ月分

※上記の額は、2026年(令和8年)1月現在の各種規定に基づくものです。

勤務時間・休暇等

- ■勤務時間……勤務時間は1日7時間45分
  原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休2日制になります。
- ■休　　暇……各種制度: 年20日の年次休暇 (4月1日採用の場合、採用の年は15日。
  残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(年末年始・夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。
- ■各種制度……フレックスタイム制、育児休業、配偶者同行休業等があります。

福利厚生

- ■共済組合……健康保険や年金などの事業のほか、貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。
- ■福利厚生施設……共済組合直営の宿泊・婚礼施設や外部委託契約による民間保養施設等を割引金額にて利用できます。
- ■医療施設……防衛省には独自の病院(自衛隊病院)が全国各地にある他、各職場には医療施設(医務室)が設けられており、職場内で病気等の治療を受けることができます。
- ■フードコート・売店等施設……職場にはフードコートや売店などが設けられており、食事や生活必需品を購入することができます。

共済組合

福利厚生施設
(グランドヒル市ヶ谷)

医療施設
(自衛隊中央病院 <世田谷区>)

フードコート

採用実績 ※()内の数字は各年度における採用予定者数を示しています。

試験区分 ＼ 試験年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
防衛省専門職員採用試験		英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語	英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、ベルシャ語、フランス語	英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、フランス語	英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、フランス語	英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、フランス語
国家公務員採用一般職試験	大卒程度試験	行政 (3) 電気・電子・情報(13) 土木(2)	デジタル・電気・電子(10) 土木(2)	デジタル・電気・電子(17) 機械(4) 行政(16)	デジタル・電気・電子(15) 機械(5) 行政(12)	デジタル・電気・電子(15) 教養(7) 行政(9)
	高卒者試験	事務(17)、技術(19)	事務(11)、技術(13)	事務(28)、技術(24)	事務(10)、技術(9) 社会人経験者(5)	事務(7)、技術(5)
	社会人試験					技術(2)
国家公務員採用総合職試験	大卒程度試験		工学(1)			

※防衛省専門職員採用試験においては、毎年度、各言語より若干名の採用となっています。

採用試験スケジュール

防衛省専門職員 採用試験

4月1日(水)～15日(水) 申込期間 → 5月24日(日) 第1次試験 → 6月22日(月) 第1次試験合格者発表 → 7月6日(月)～10日(金)のうちの指定する日 第2次試験 → 7月27日(月) 最終合格者発表 → 最終合格発表後随時 採用面談 → 10月1日(木)以降 内定

※防衛省専門職員採用試験の詳細な日程等については、必ず防衛省ホームページ(採用情報) で最新の情報をご確認ください。

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

2月19日(木)～3月23日(月) 申込期間 → 5月31日(日) 第1次試験 → 6月24日(水) 第1次試験合格者発表 → 7月8日(水)～24日(金)のうちの指定する日 第2次試験 → 8月12日(水) 最終合格者発表 → 合格発表後随時 採用面接 → 10月1日(木)以降 内定

官庁訪問

※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)

6月12日(金)～24日(水) 申込期間 → 9月6日(日) 第1次試験 → 10月8日(木) 第1次試験合格者発表 → 10月14日(水)～23日(金)のうちの指定する日 第2次試験 → 11月17日(火) 最終合格者発表 → 合格発表後随時 採用面接 → 内定

官庁訪問

※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

採用試験の詳細情報及び受験案内等請求先

■防衛省専門職員採用試験

防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。

■国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験・高卒者試験)

人事院のウェブサイト「国家公務員試験採用情報 NAVI」又は防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。